

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

⇩ 平成17年度の調査状況

Q : 国税庁から平成17年度に行われた調査状況が公表されたそうですが、どんな内容だったのですか？

A : 調査総件数は80万件あまり、うち70%近くから申告漏れがあり、追徴税額が1,144億円でした。

【解説】

さきごろ、国税庁から平成17事務年度(平成17年7月から平成18年6月)に行った所得税及び消費税の調査状況が公表されました。

それによりますと、調査等の総件数は80万6,769件でそのうち56万6,999件から申告漏れが確認され、申告漏れ所得金額の合計が8,957億円、追徴税額が1,144億円だったとのことです。

そして、海外取引については2,177件調査が行われ1,715件の申告漏れがあり、ネット取引については1,453件の調査が行われ986件の申告漏れがあったとのことです。

また、消費税については、所得税の調査と同時に、7万2,369件の調査があり、4万9,000件から非違がみられ、追徴税額は220億円だったとのことです。

悪質な事案には、白紙の領収書に架空の取引を記載していたケースやスーパーのゴミ箱などからレシートを集め多額の架空経費を計上していたケース、海外の現地法人からの報酬や配当、利子所得が申告されていなかったケース、ネット販売による所得やアフィリエイト報酬などが申告されていなかったケースなどがあります。

